

事業評価調書(改定案)

令和6年度に行う、令和5年度事業の評価から活用予定。

◎基本情報

年度	令和5年	会計コード		事業コード		
事業名						
評価担当課	所属			電話番号		
施策名						
事業の性質	<input type="radio"/> 経常経費 <input type="radio"/> 臨時的経費 <input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 法定経費 <input type="radio"/> 指定管理費					
	<input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 補助・助成 <input type="radio"/> その他					
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)					
	事業内容(何を実施し)					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)					
	他都市の状況					
	市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外				
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象	事業目標			R4	
	<input type="radio"/> 対象外				R9	
R4決算額	千円	うち特定財源	千円	正規職員業務量	人工	
R5予算額	千円	うち特定財源	千円	正規職員業務量	人工	
R5決算額	千円	うち特定財源	千円	正規職員業務量	人工	
R6予算額	千円	うち特定財源	千円	正規職員業務量	人工	
指標	アウトプット活動指標1	という活動、業務を行うことで				
		R4実績	R5予定	R5実績	R6予定	R7予定
	アウトカム成果指標1	という状態にしたい、成果を挙げたい				
		R4実績	R5予定	R5実績	R6予定	R7予定
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方					
	アウトプット活動指標2	という活動、業務を行うことで				
		R4実績	R5予定	R5実績	R6予定	R7予定
	アウトカム成果指標2	という状態にしたい、成果を挙げたい				
		R4実績	R5予定	R5実績	R6予定	R7予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方					
今年度の見直し内容						
来年度以降の方向性						

事業の背景⇄事業内容⇄どのような状態にしたいという流れを意識し、後段のアウトプット・アウトカムに繋げていくイメージ。

アウトプットとアウトカムの連関関係を意識した構成とし、現在の評価調書にない起点と目標年度を設定し、いつまでにどのような状況とするかを意識して整理できるように設計。

ABCや定性的記載は行わず、指標到達度等をもとに、事業を今年度どう見直し、来年度以降どのような進めていくのかを記載させる。